

J009(1020-07) 艇に載せる器具, 装置

Onboard Safety Devices and others

最小限の工具, 救命具, ライトなど, 乗艇には, 必要最小限の基本的な装備が必要です. 水域の特性にあわせて, 安全のために必要なものを普段から常備する習慣が大切です.

1 救命具

Safety Gear

競漕艇は乗員数 + 予備1個の救命具を搭載する必要があります(競漕規則第9条). 救命具には, 単純な浮き輪式(日漕制式浮き輪)の他, また水に落ちると自動的に膨張するタイプのものもあります. 救命具は, 時々膨らませて, 異常がないことを確認する必要があります.



救命具とそれを膨らませたところ

2 工具類

Some Tools

乗艇練習には, 最小限の工具を載せるように心がけましょう. プライヤー(1), 六角レンチ(6mm x 1), レンチ(スパナ, 10, 13, 17mm x 各1)などです. これらは, 陸上で使用するものとは別に用意しておいたほうがよいでしょう. 小さな工具袋に入れ, また乗艇後の手入れを適切に行うことが必要です.



プライヤー



レンチ

3 ライト

Battery Light

日没後の乗艇では, 白色のライトを艇の前後に取り付けます. 水域でのルールがあればそれを優先しましょう.



4 スポンジ, ボウルなど

Sponge, Vessels

ラフ・ウォーターや雨のとき, 艇内に入った水を排水するためには, スポンジやボウル(丸底の器)などが役に立ちます. ペットボトルを切ったような簡単なものでも良い. 水域にもよりますが, ラフ・ウォーターや雨の可能性に備えて, 常備する習慣が大切です.



ちょっとした用心が命を救うときもある.

5 給水

Water

特に夏の乗艇では, 水を持って乗り, 日射病や脱水症に注意しましょう. 水のボトルは, 各自が個別に用意するようにして, クルーの「回しのみ」は避けましょう(重要!). 誰かが引きかけた風邪に全員が感染してダウンということは, 現実には大きなリスクとなります. 水域によっては川の水を直接飲めるくらい環境が良いとすばらしいのですが...



給水ボトルは各自が用意しよう。(世界選手権 2002 より)

6 タオル・防寒具や雨

towel, Wind-breaker etc

必要に応じ, タオル, 防寒具, 雨具などを持って乗ります.

7 ストップウォッチ, その他の計器

その他, 練習のためには, ストップウォッチや各種の計測機器を載せることもあります.

